

令和 4（2022）年度第 1 回栃木県無人自動運転移動サービス推進協議会  
議事概要

- 1 開催日時 令和 4（2022）年 6 月 15 日（水）10:30～11:45
- 2 会議形式 オンラインによる Web 会議（県庁昭和館多目的室 3）
- 3 出席者 委員：8 人（うち代理 2 人）、オブザーバー：3 人（うち代理 2 人）

#### 4 議 事

##### （1） 小山市における実証実験の実施結果について

資料 1 に基づき、事務局が小山市における実証実験の実施結果について説明し、委員から今後の実装を進める上での留意点等について意見を頂いた。

##### 《委員からの主な意見等》

- ・ 今回使用した車両はおーバスと同型的で同じサイズ感の車両であり、実際のコミュニティバスと同じような形で利用できたのではないかと。1 往復につき約 1 回程度手動介入があったものの、危険性のあるものではなかったということで、導入はそう遠くないと感じた。一方で、運賃などの課題もまだ多い。【委員】
  - 実装への課題は残るものの、実装への検討材料が得られた。引き続き実証実験を通し、技術向上を図りたい。【事務局】
- ・ 実際に乗車し、運行システムや路車協調等、技術面での進歩を実感した。車内モニターにより運行システムがよく分かり、アンケート結果にもあったように、乗車前後での不安感減少につながったのだろう。導入への課題として、ルート選定、運賃未払い対策、事故時の法的責任の所在等がある。また、自動運転を実装することでバス運行経費の中で負担割合の高い人件費削減につなげたいが、交通事故防止の観点からは手動介入や遠隔管理システムが必要であり、現時点ではどの程度人件費削減につながるか疑問である。導入にはまだ時間を要するが、技術開発を見守りつつ、おーバスへの自動運転導入に向け、調査検討を進めたい。【小山市】
  - 本プロジェクトで行っている他地域での実証実験データも参考にしていきたい。【事務局】

##### （2） 壬生町における実証実験の実施結果について

資料 2 に基づき、事務局が壬生町における実証実験の実施結果について説明し、委員から今後の実装を進める上での留意点等について意見を頂いた。

### 《委員からの主な意見等》

- ・ 樹木に覆われた区間において、GPS 捕捉率の改善策はあるか。【委員】  
→ 磁気マーカ―など道路側に自己位置を推定できる施設の設置が必要と考えている。【事務局】
- ・ 実証している車両の全てに乗車したが、壬生町の車両が一番スムーズに運行していると感じた。公道走行ではなく公園内の走行だったことが理由だと思いが、現在の自動運転技術レベルに親和性が高かったと思う。限られた区間を一定速度で走りつつ、歩行者や自動車の妨げにならないように走行しなければならないことを考えると、今回の実証実験の状況は実装が一番早いタイプだと思う。乗車前後で自動運転の不安感に対する良い意味でのギャップを作ることができたと思う。【委員】  
→ 自動運転バスが走行しやすい環境は限定空間であると考えている。ただし、本プロジェクトでは公共交通である一般路線バスへ自動運転バスを導入することを目標としているため、一般路線バスへの導入方法について引き続き検討していく。【事務局】
- ・ 実験車両のラッピングが、イチゴのデザインで統一されており、Web 等で見たときに、一目でこのプロジェクトの実験車両と分かるのでよいと思う。【委員】
- ・ 手動運転であれば、クラクションによる注意喚起で歩行者が避けるような場面で、自動運転では車両側が止まらざるを得ないなど、自動運転と手動運転とでは挙動に違いがある。自動運転側も技術的に手動運転に近づくだろし、乗客側も自動運転に慣れていくだろう。実証実験で乗車枠を使って多くの方に試乗してもらい、複数回、複数の場所で乗ってくれる方が増えると、乗り心地の向上なども実感してもらえらると思う。【委員】

### (3) 那須町における実証実験の実施概要について

資料3に基づき、事務局が那須町における実証実験の実施概要について説明し、委員から今後準備を進める上での留意点等について意見を頂いた。

### 《委員からの主な意見等》

- ・ 対象エリアは町民の交流拠点やテレワーク施設の整備が進む等、町と地域住民が協力しながら、活発なまちづくりが行われている地域である。地域住民の移動に関して、既存の公共交通ではカバーできないところでの小さな足として、自動運転バスの可能性を検討したい。また、地域住民に限定せず、観光客の移動手段としても考えていきたい。にぎわい創出の観点から、自動運転と街づくりの連携を進めていきたい。自動運転の実用化に関して期待を寄せているので、自動運転バスの導入を検討していけたら

よいと考えている。【那須町】

- 駅から出発して駅に戻っていく路線であり、運行頻度も高い。地元地域だけでなく観光客の利用も期待できる。自動運転目当てでも、その他の観光目当てでも、使いやすい路線だと思うので、積極的に広報などもお願いしたい。【委員】